

船橋フォーラムのご案内

船橋における子育てを取り巻く環境と児童相談所設置について

現在、船橋市では増え続ける児童虐待や障害などの困難を抱えた子ども達を応援するために、船橋独自の児童相談所を新設することが本格的な議論の俎上にのぼっています。最寄りの児童相談所は県の市川児童相談所と市外であり、体制も充分とは言えません。船橋独自の児童相談所の新設については議会でも強い要望があり、新市長の公約にも盛り込まれていることです。子どもは親の宝であるとともに、まちの宝です。心身ともに健やかな子ども達を育てていくことは、子どもや子育て世代のためだけではなく、将来のまちの担い手を育てるというまち全体の課題です。

一方で児童相談所を新設すれば、毎年3～4億円の新たな費用が発生します。これは61万市民一人あたり毎年500円新たに負担する計算になります。また、子どもの虐待防止には地域や学校などでの見守りも大切ですし、里親などの受け皿も必要です。したがって、児童相談所設置をふくめた子どもの虐待防止にはすべての世代の市民の方のお力がなければできないものです。小さな命の悲劇が報道されていますが、それは決してどこか遠くでおきていることではありません。船橋でも虐待による深刻な事件がいつ起きてもおかしくない状況にあります。子どもの虐待防止と児童相談所の設置をどうすれば良いのか、参加者の皆様と一緒に考えていきたいと願っております。是非とも様々な世代の方々にご参加いただきたくご案内致します。

1. 日時 平成25年11月30日(土) 15:30～17:30 (15:15 受付開始)
2. 場所 船橋文化ホール：船橋市中央公民館6F講堂
* JR又は京成船橋駅から徒歩7分程度 (※会場内にキッズスペース有り)
3. 参加費 無料
4. 主なプログラム ①基調報告
「船橋におけるこどもの虐待と児童相談所設置について」
②パネルディスカッション・会場とのクロストーク
「今子ども達に何が起きているのか、私たちはどう関わっていけるのか」
パネリスト
育て易い環境づくり：塚越幸代 (健康増進課課長補佐 (保健師)、前船橋市家庭児童相談室所長)
虐待を受けた子ども達の姿：廣瀬タカ子 (里親、ファミリーホーム代表)
親から見た視点：あみちえ (「うまれる」@船橋上映会実行委員長)
コーディネーター：つまがり俊明 (船橋市議会議員、2児の父)
5. 参加申込 FAX 又メールにてお申込み下さい。(047-460-9546、funaforum@gmail.com)
*準備の都合上11月22日までにお申し込み下さい。恐縮ですが定員(100名)になり次第締め切らせていただきます。
6. 懇親会 18時より懇親会(会費 4000~~5000~~円)を行いますのでご希望の方はお申込み下さい。
フォーラム 参加する・参加しない
懇親会 参加する・参加しない

氏名

他名